

令和8年（2026）2月26日 No.11

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責 原井葉子

自ら問い、共に未来をデザインする学び

① 5年生×プロの共創！理想の校舎をデザイン

あすか野小学校の5年生が、空間づくりのプロである乃村工藝社と連携し、「学校の4階」を舞台にインクルーシブな空間デザインに挑みました。単なる空想にとどまらず、多様な立場の人々と「どう共に過ごすか」を考えるプロセスを重視。「動物と触れ合える場所」や「勉強が苦手な人、体が不自由な人も心地よく過ごせる部屋」など、子どもたちの柔軟なアイデアがプロの手で次々とイラスト化され、会場は活気ある対話の場となりました。

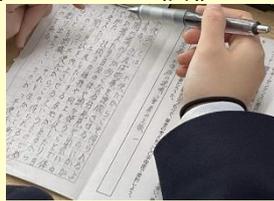


この授業で育まれた「他者を思いやる視点」は、これからの生駒の教育が目指す、共生社会への大切な一歩です。子どもたちの瑞々しい感性を、これからの学校づくりや教育施策に反映させていきたいと思えます。☞（生駒市教育委員会公式noteで紹介しています）

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n31519fe278ca>

② 自ら考え言葉をつかみ取る。思考と道具の活用

緑ヶ丘中学校では、生徒が自律的に問いを立て、納得解を探る授業づくりが進められています。国語の論説文の学習では、要約に留まらず「誰にとっての価値か」という多角的な視点から筆者の主張を捉え直す活動を展開。情報を鵜呑みにせず、論理のつながりを自分の頭で判断しようとする、深い思考のプロセスが重視されています。



また、外国語の授業では、ICTツールのクイズ機能をペア学習で活用。制限時間の中で文法ルールを仲間と「言語化」し、教え合う活発な対話が生まれ、デジタルを個々の思考の可視化や交流の入り口として使いこなす工夫が随所に施されています。これらの授業に共通しているのは、教員が正解を提示するだけでなく、生徒の試行錯誤を促す仕掛けを組み込んでいる点です。自ら考え、言葉を紡ぐ日々の積み重ねが生徒たちの主体的な学びを支えています。

☞ <https://ikomacity-edu.note.jp/n/n3db964cc9ac2>

10周年スペシャルコンサートを開催！

平成28年の開始以来、30もの市民団体と共に歩んできた「市民みんなで創る音楽祭」が10周年を迎えます。これまで90公演を重ね、愛され続けてきた本事業の節目を華やかに彩る特別公演には、雅楽の第一人者・東儀秀樹氏と、ギタリストとして活躍するご子息の東儀典親氏が登場。親子共演による伝統と現代の融合は必見です。さらに、総合司会には生駒市出身のラジオDJ・大抜卓人氏を迎え、アニバーサリーを熱く盛り上げます。会場一体となって、「音楽のまち」の歴史と未来を心ゆくまで楽しみましょう。

皆様のご来場をお待ちしています。

- ・とき：3月14日(土) 14時開場 14時45分開演
- ・ところ：たけまるホール 大ホール
- ・入場料：一般2,500円 高校生以下は無料

☞ <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000038832.html>
お問い合わせ：生涯学習課(☎74-1111内線3720)

「生駒市幼稚園再編に係る基本方針」について

本市では園児数の減少を受け、将来の利用推計や市民ニーズ調査に基づき「公立幼稚園のあり方に関する基本方針」を策定しました。パブリックコメントを経て、2月16日の総合教育会議での協議、翌17日の定例教育委員会にて決定いたしました。再編にあたっては園児の成長を最優先し、適正規模の集団による多様な体験や円滑な保幼少接続を通じた教育・保育の充実を図ります。あわせて、在園児への配慮や個別の支援、地域や保護者の皆様との絆の継続にも努めてまいります。

今後は、本方針の内容について保護者や地域の皆様へ丁寧に説明を行い、深いご理解をいただけるよう誠心誠意努めてまいります。子どもたちのより良い教育環境の確保に向け、ご協力をお願い申し上げます。

☞ <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000040076.html>

生駒南小・中学校の新たな学校づくり

「共創スタジオだよりVOL.5」を発行しました。

地域の皆様を対象に開催したワークショップと、最終全体会の報告です。ご一読ください。

☞ <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000039391.html>